



ごみスリムリっとう vol. 49

「食材を無駄にしないレシピ」に取り組みましょう

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。全国では、1年で約600万トンの食品ロスが発生していると言われています。(注1)

そこで、「食品ロス」を削減するため、「食材を無駄にしないレシピ」に取り組んでみませんか？「食材を無駄にしないレシピ」とは、例えば、野菜を丸ごと使ったレシピや余った料理をアレンジしたりメイクレシピなど、まだ食べられる食材を無駄なく使うレシピのことです。これまで捨てていた残った野菜や残ってしまった料理などを活用してみませんか。

「ブロッコリーのザーサイ」(注2)



- 材料 (1人分)
- ・ブロッコリーの茎 150g
 - ・塩 小さじ1/2
 - ・ラー油 小さじ1/3
 - ・ごま油 小さじ1
 - ・鶏がらスープの素 小さじ1/4(1g)

● 手順

1. ブロッコリーの茎は端から薄く輪切りにする。
2. 耐熱皿に入れて、ラップをし、電子レンジで4分ほど加熱する。
3. 塩、ラー油、ごま油、鶏がらスープの素を合わせておく。
4. 2が熱いうちに3を加えてよく混ぜる。



もっとレシピを知りたい方は・・・料理レシピサイト「cookpad」(https://cookpad.com/kitchen/10421939)では、野菜を丸ごと使ったレシピや余った料理をアレンジしたりメイクレシピが紹介されています！

(注1) 農林水産省及び環境省「平成30年度推計」
(注2) 料理レシピサイト「cookpad」

お知らせ

環境を考えるポスター受賞作品を展示します

未来を担う子供たちが、ごみ減量・リサイクル活動や、環境保全・自然エネルギーについて関心を深め、豊かな発想による提言を得ること目的に、市内在住・在校の小学生を対象に、啓発ポスターを募集し、161点の応募がありました。その中から、受賞作品を展示します。ぜひご覧ください。

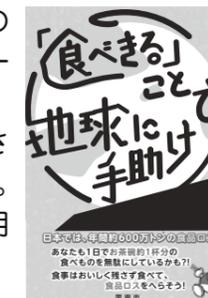
日時：令和3年11月19日(金)から11月26日(金)
会場：栗東市立図書館(本館)

お知らせ

食品ロス削減啓発ポスターを作成しました

10月の「食品ロス削減推進月間」に併せて、市では、食品ロスへの関心や理解を深めていただくことを目的に、食品ロス削減啓発ポスターを作成しました。

今年度は、「食べきることで地球に手助け」をテーマに、食事を残さず食べて食品ロス削減に繋げることを呼びかける内容になっています。ポスターは市内各施設に掲示しています。また、自治会へも掲示用にお渡ししていますので、ぜひご活用ください。



お知らせ

使用済み小型家電の集団回収について

9月19日(日)に予定していた、1回目の使用済み小型家電の集団回収は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきますが、下記の日程で、2回目の集団回収を行います。通常、小型家電をごみ集積場に出す場合には、有料の指定袋または指定のごみシールが必要ですが、集団回収では無料で回収を行っています。

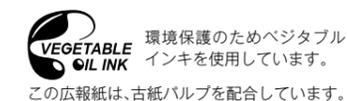
資源の有効利用と環境汚染防止のため、ご協力をお願いします。

日時：令和4年2月20日(日) 9:00~11:30

場所：栗東市総合福祉保健センター駐車場(通称：なごやかセンター)

※新型コロナウイルス感染症拡大や警報を伴う荒天、雪や路面凍結など、安全な回収に支障があると判断した場合は回収を中止します。中止の場合は当日午前8時までに市のホームページでお知らせしますので、ご確認の上、ご来場ください。

編集・発行 栗東市ごみ減量リサイクル推進会議
栗東市ごみ減量リサイクル推進会議事務局(栗東市役所 環境政策課 生活環境係)
TEL 077-551-0341 FAX 077-554-1123 Eメール kankyoseisaku@city.ritto.lg.jp



環境保護のためベジタブルインキを使用しています。この広報紙は、古紙パルプを配合しています。

新型コロナウイルスなどの感染症対策のためのごみの捨てかた

新型コロナウイルス感染症の影響で、家庭から出されるごみの量が増えています。

家庭ごみを出すときは、次の5点に気を付けましょう。



①ごみ袋はしっかり縛って封をする。

ごみの散乱防止につながります。

②ごみ袋の空気を抜いて出す。

収集運搬作業でも運びやすくなり、収集車での破裂を防止できます。

③生ごみの水切りをする。

ごみの量を減らすことができます。

④ごみの減量を心掛ける。

食品ロスを削減するなど、ごみを出さないことも大切です。

⑤分別ルールに従って、ごみを出しましょう。

マスクなどのごみのポイ捨ては絶対にやめましょう。

“生ごみ減量化推進補助金”をご存じですか？

ごみ減量対策として、栗東市の家庭から出る生ごみを堆肥化するコンポスト・機械式生ごみ処理容器設置者（世帯）に対し、栗東市では補助金を交付しています。

【家庭用】

補助率：購入価格の2分の1

限度額：5,000円

対象となる方：

- ①生ごみ処理容器の購入日から申請日まで継続して栗東市に住民登録がある方
 - ②家庭生活に伴って生ずる生ごみの減量化に資するため、生ごみ処理容器を設置することを目的として購入する方
 - ③過去3ヵ年に本補助金を受けていない世帯
- ※個人売買は対象外となります。

補助金申請に必要な書類：

- ①購入店発行の領収書（レシートは不可）
- ②設置後の写真（設置した場所がわかる全体写真1枚、処理容器の写真1枚）
- ③生ごみ減量化推進補助金申請書・請求書

詳細は、市ホームページ

(http://www.city.ritto.lg.jp/shinseisyo/gomi_kankyo/9539.html)

または、環境政策課（077-551-0341）までお問い合わせください。

「使い捨てプラスチック」を減らすために、わたしたちにできる事

プラスチックは非常に便利な素材で、ペットボトルなどの容器包装から家庭用品まで、わたしたちの身の回りのあらゆる場所で利用されています。一方で、ポイ捨てや不法投棄によって、世界では年間約800万トンのプラスチックごみが海に流れ出て、海の環境を汚し、海の生き物にも悪影響を及ぼしています。2050年には海のプラスチックごみは魚の量を上回るという予測まであります。（注1）

わたしたちも、「使い捨て」の生活習慣を見直し、できる事からプラスチックを賢く使う工夫をしてみましょう。

プラスチックごみを減らすための行動

- マイバッグを持参し、レジ袋はもらわない。
- マイボトルを持ち歩き、プラスチックのカップを減らす。
- マイ箸を持ち歩き、プラスチックのスプーンやフォークを減らす。
- プラスチック製のストローの使用を控える。
- スーパーなどで食品を小分けにするポリ袋の使用を減らす。
- 詰め替え用ボトルなど繰り返し使えるものを選ぶ。
- 食品の保存はふた付き容器を使い、ラップの使用を減らす。
- 買い物の中には簡易包装を頼む。
- 海・川・山のレジャーではごみを持ち帰る。
- 屋外で出たごみは家に持ち帰って処分する。
- 河川敷や海岸の清掃活動に参加する。
- ごみは所定の場所・時間に、分別して出す。
- ごみのポイ捨て、不法投棄はしない。



用語解説 -SDGs（エスディージーズ）-

SDGsは「持続可能な開発目標」という意味の英語Sustainable Development Goalsの略。2015年に国連総会で決定された、2030年までに目指すべき17の目標のこと。

SDGsは国や自治体だけではなく、ひとりひとりが取り組むことでもあります。使用しない電気を消す、ごみを少なくする、詰め替え可能なボトルを持ち歩くなど、小さな行動かもしれないけれど、それこそがSDGsの取り組みです。



（注1）環境省ホームページ

(<http://plastics-smart.env.go.jp/rejibukuro-challenge/think/>)